

オンライン認知行動療法

～子どもの認知行動療法の新たな可能性～



The Benefits of Internet-Delivered CBT for Child and Adolescent Anxiety Disorders



講師

Susan H. Spence

(Griffith University, Brisbane, Australia)

社会的スキル訓練を子どもの適応支援に応用した先駆者であり、子どもの抑うつ・不安に関する研究の第一人者。インターネットを活用したCBTプログラムの開発など、世界最先端の研究を続けている。

本講演では、子どもの不安克服をサポートするオンライン認知行動療法プログラム“BRAVE-Online”の取り組みについて紹介します。

強い不安を感じながら生活をしている子どもは、対人関係で困ったり、不登校になることもあります。子どもの不安克服には認知行動療法が有効ですが、子どもの認知行動療法を受けられる機関が身近にあるとは限りません。

インターネットを活用した認知行動療法が広まれば、専門家の支援を自宅でも受けられるようになります。“BRAVE-Online”には、未就学児の保護者用、子どものセルフヘルプ用など、さまざまなバージョンがあります。本講演では、オンライン認知行動療法の実際と効果について解説します。

日時：2015年10月10日（土）13:00～14:30

場所：同志社大学 今出川校地 継志館 2階会議室

参加費：無料 事前申込：不要



主催 児童青年認知行動療法研究会

共催 同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター、同志社心理学会